

中日新聞

平成 19 年 10 月 26 日(金)朝刊

Business
しずおか経済
 あなたのニュース お寄せ下さい FAX 053-421-5218
 メール keitos78@chunichi.co.jp

ガーデンパークに花き開発センター

キリンアグリバイオ

キリンホールディングス傘下で、花き品種開発や生産・販売を手掛けるキリンアグリバイオ

浜松産新種研究も

バイオ社は世界十五カ国で育種・開発した花きを提携する生産農家で育て、切り花や鉢物として販売している。新たに設けた商品開発センターでは、海外から導入した種苗が、日本の自然環境に適合するかを評価したり、新品種開発や育種技術の研究を行う。ガーデンパークの有効活用と花き産業振興を目的とした県の公募に応じ、愛知県豊橋市などの試験施設三十カ所を集約した。

施設は八千二百平方メートルの敷地に、ガラス温室八棟と事務所棟、作業棟を建設。カーネーションやキク、バラ、ガーベラなど約千三百品種を試験

商品化、栽培情報発信へ



栽培し、その中から商品化にく。総事業費は約二億五千万円。将来的には八棟のうち一棟は一般公開する予定。栽培

(東京都中央区)は、「花き商品開発センター」を浜松市西区村柵町の浜名湖ガーデンパーク内に開設した。世界各国から導入した新品種の商品化に向けた試験栽培や情報拠点としての研究施設。二十五日、現地で開催式があった。

松尾社長「産業の拠点に」

技術講習会など行って花き文化の発展にも力を入れる。開所式でバイオ社の松尾学社長は「国内の花き産業振興や文化、情報発信の拠点になりたい」とあいさつ。県産業部みかん園芸室の内野稔室長は「花き産地のブランド力向上に期待したい」と述べた。

①花き商品開発センターを見学する関係者 ②ガーデンパーク内に設置された試験栽培用温室 いずれも浜松市西区村柵町で

